



記者発表資料	
令和8年4月17日	
担当課 (担当)	総務課 (濱岡)
電話	0857-30-8107 (内線 7110)

『新修鳥取市史』第六巻（大正篇・資料篇）を刊行します

このたび、『新修鳥取市史』第六巻（大正篇・資料篇）を刊行する運びとなりました。

昭和49年の着手から長きにわたり編さんを進め、これまでに近世から明治期までの五巻を刊行してまいりました。今回の第六巻の刊行をもって、今回の編さん事業については終了となります。

なお、本事業は平成16年の市町村合併以前から進めてきた取り組みのため、対象範囲は「旧鳥取地域」となります。

1 『新修鳥取市史』第六巻（大正篇・資料篇）のあらまし

本巻は、第一次護憲運動に始まり軍部の台頭に終わる大正期について、鳥取市の政治・経済・教育・社会・文化がどのように対応し展開していったか、また、鳥取市の独自性をどう育てていったかを記述しています。

また、大正篇の記述に加え、第四巻（明治 政治篇・経済篇）、第五巻（明治 教育篇・社会篇）も含め、本文には収録しきれなかった資料を資料篇として掲載しています。

2 仕様・価格

仕様：A5判、1、300ページ

価格：8,580円（税込み）

3 販売場所

令和8年5月上旬より、以下の場所にて販売を開始いたします。

- ・市内書店
今井書店吉成店、湖山店
喜久屋書店国府店
ブックセンターコスモ吉方店
横山書店
- ・鳥取市歴史博物館やまびこ館
- ・鳥取市役所公文書管理室

併せて、市民の皆さまに広くご覧いただけるよう、市内の図書館や地区公民館にも備え置きます。

新修鳥取市史第六巻 大正篇・資料篇

【概要】

- ・『新修鳥取市史』第六巻は、大正時代をまとめた「大正篇」及びその「資料篇」と、第四巻・第五巻の「明治篇」の「資料篇」を収録しています。
- ・市民活動が大きくなるとなるとなると高まった「大正デモクラシー」がこの時代の象徴であり、第一次護憲運動に始まり軍部の台頭に終わる激動の大正期に、本市の政治・経済・教育・社会・文化がどのように対応し展開していったか、また、本市の独自性がどう育っていったかを記述しています。
- ・第一章では、大正デモクラシー期の鳥取市について、大正政変との関係、第一次世界大戦下の状況や軍事との関係、鳥取市の財政状況、電気の市営問題にまつわる市政の激動などをテーマに考察しています。
- ・第二章では、大きく発展する大正期商工業について、金融機関の整備と統廃合、商業の発展や同業組合の役割、商業会議所の設立とその課題、交通・通信網の発展などをテーマに考察しています。
- ・第三章では、岩美郡、気高郡に属していた当時の鳥取市周辺の村を中心に、農村としての疲弊や産業構造、村の経営の状況、郡制廃止の影響などをテーマに考察しています。
- ・第四章では、大正期に大きく発展した新時代の教育の進展とそれに伴う様々な学校の拡張について、小学校における新教育の実践的展開や教員の養成、中等教育の拡大、鳥取高等農学校の創設や様々な実業教育の展開、盲・聾教育の発展などをテーマに考察しています。
- ・第五章では、大正期の市民生活について、部落改善と融和政策、大正期の女性を取り巻く状況、市民生活と娯楽、宗教、社会事業の展開、疾病や災害、文化・芸術などをテーマに考察しています。